

悠久の松に 囲まれし学舎

志布志高等学校 教頭 大塚 貞敏



海老原喜之助作「男の顔」



吉井淳二作「ピロー島」

らの名画
は全国各
地の美術
館に展示
されてい
ますが、
本校にも
所蔵され
ていま
す。

本校は、枇榔島の浮かぶ志布志湾を眼前に、周囲を松林に囲まれた風光明媚な学舎です。
ひとたび門をくぐると昔を偲ばせる旧制志布志中学校・志布志高等女学校から移された門柱（追思の碑）や日精華壇の碑、そして百年以上の年輪を重ねた老松・大楠・蘇鉄

など、千本近い木々が生い茂っています。生徒たちはそのすばらしい学習環境のもと、日々教育活動に励んでいます。
かつて旧制中学校は東洋一の敷地を誇り、敷地内を鉄道が走り志布志湾の渚まで続いていたそうです。また旧制志布志中学校・志布志高等女学校

の建学の精神は、一貫して今日まで受け継がれています。切磋琢磨し勉学にいそしむ美風、日本人の美德を柱とした奉仕の精神、そして質実剛健の気風は、校訓「叡・志・剛」として今なおその輝きを

失っていません。
卒業生には洋画家としてあまりにも有名な海老原喜之助と吉井淳二両画伯が名を連ね、二人はともに鬼才と謳われるほどの才能を發揮し、卓越した作品の数々を残しています。彼